

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	メティラ郡 49 村において、直接および間接受益者の生活が改善する
(2) 事業の必要性 (背景)	<p>(イ) 事業実施国における一般的な開発ニーズ</p> <p>本事業実施国であるミャンマー連邦 (以下ミ国) は、慢性的な貧困に陥っており、世界の最貧国の一つとして数えられている。ミ国政府は、国際援助機関と効果的・効率的に連携し、限られた国家予算をもって国民の生活向上に取り組んでいる。特に、保健医療システムの構築に代表される、適切な医療を受けるための環境整備や、金融サービスの整備に代表される、国民一人一人が個々の経済活動を活発にするための環境整備のためには、前述の連携の下で長期に渡る継続的な取り組みを行うことが求められている。保健医療面においては、南北に広い国土を持つ物理的アクセスの悪さから、地方農村部や国境地域において、特に保健医療サービスの不足ないし欠如が顕著な問題となっており、ミ国政府はこれらの地域における重点事項として、「Community Health Care Program」に取り組んでいる。</p> <p>(ロ) 申請事業地域のニーズ</p> <p>本事業対象地であるマダレー地域メティラ県メティラ郡は、年間降雨量が 700mm 程度 (主要都市ヤンゴンの 3 分の 1) の中央乾燥地域に位置する。灌漑インフラが不十分のため農民は天水農法に頼らざるを得ず、その結果農業生産の不安定化が常態化している。安定した収量 (収入) を得られない農業を補うべき小規模産業等は十分なレベルまで成長しておらず、結果として慢性的に貧困度の高い地域となっている。また保健・医療面においては、乾燥気候ならびに水不足に起因する疾病、すなわち急性呼吸器感染症、下痢、赤痢等が多く、常に同郡における疾病罹患率の上位 3 位を占めている。</p> <p>このように貧困度が高い地域では、貧困層住民の生活リスクへの対応能力が極端に低い傾向にある。例えば、急な病気にかかって治療が必要な場合、健康保険制度が普及していないミ国では、高額な費用が必要になるが、一般の金融機関からは、不動産や定期預金等の担保がないため融資を受けられず、貧困層住民は月利 20% を超える借金や、なけなしの資産の売却に頼らざるを得ない。その結果、利子返済に追われて多重債務に陥る者、借金返済のために家財一式を売却せざるを得ない者も少なくない。</p> <p>このような状況に鑑み、当法人は平成 10 年よりメティラ郡において、貧困層世帯女性の自立ならびに貧困の悪循環からの脱却を目的とした「生計向上プログラム」を実施し、健康教育、技術研修、小規模無担保融資、健康保険、貯蓄の 5 つのサービスを提供している。本事業は「生計向上プログラム」の 5 つのサービスのうち、「健康教育」と「技術研修」の拡充を図るものである。(その他のサービスの提供については、自己資金にて実施している。)</p> <p>(ハ) フェーズ 1 事業の状況とフェーズ 2 事業の展開</p> <p>本事業は平成 24 年度までの 3 年計画の事業であり、事業目標として『受益者が適切な保健行動をとるようになること』、『受益者が生計手</p>

	<p>段、収入を拡大すること』を掲げて活動してきた。</p> <p>フェーズ1事業は計画通り進捗しており、健康教育においては、本事業にて育成したピアエドゥケーターとともに個人衛生、環境衛生、季節性インフルエンザに関する健康教育を受益者に対して実施した。その結果、個人衛生の不足によって急性呼吸器感染症、下痢、赤痢などの疾病が起こることを理解している受益者の割合が増加し、手洗いをを行うようになったなどの成果が認められている。2つの技術研修（農業・畜産）においては、研修で学んだキノコ栽培の知識を活用して収入が増加した、小規模無担保融資からの資金を用いて新たに畜産に取り組み、生計手段が多様化した、などの成果が認められている。</p> <p>フェーズ2事業では、フェーズ1事業期間中に当初の計画通りに活動を開始した8村、および新たに事業実施の要請を受けて追加で活動を開始した4村を含む49村全村に対する健康教育を引き続き実施する。技術研修については、昨年度までにピアエドゥケーターの育成および技術研修を行っていない村（2009年度以降に生計向上プログラムに参加した村）に対しても同様の研修を行い、生計拡大の機会を提供する。また、昨年度研修を実施した村のモニタリングを継続し、効果の発現まで時間を要する農業や畜産の研修成果について確認し、関連ステークホルダーと共有する。また、郡保健局の職員や対象村を管轄する補助保健センターの助産師および補助助産師とともに、ピアエドゥケーション研修や村民に対する健康教育に取り組み、一人一人の受益者の生活（生計）向上に加え、地域の保健医療サービスに貢献できる人材の育成を行う計画である。</p>
(3) 事業内容	<p>フェーズ1事業に引き続き、本事業では受益者が基礎保健知識、農業と畜産の知識および技術を向上させるために、以下の活動を展開する。</p> <p>活動1：健康教育 活動2：農業研修 活動3：畜産研修 活動4：成果発表会の開催</p>
(4) 持続発展性	<p>健康教育においては、事業終了後には自分達で健康教育を実施していくようはたらきかけながらピアエドゥケーターを育成しており、本事業終了後には彼らが中心となって各村で継続的に健康教育が実施されることが期待できる。</p> <p>技術研修においては、これまでの研修受講者が自身の生業において、研修で習得した技術をすでに活用していることから、今回の研修の成果についても、事業終了後も持続すると考えられる。同時に、研修に参加した受益者同士での知識と技術の補完、また研修に参加していない受益者と住民への自発的な伝達が期待できる。また、当法人の現地スタッフは、研修の波及効果も継続的にモニタリングしていく予定である。</p>

	<p>なお、「生計向上プログラム」は、マイクロクレジットサービス部門（小規模無担保融資、健康保険、貯蓄）の独立採算を目指して運営中であり、プログラム自体が持続的に発展していくことを常に念頭においている。</p>
<p>(5) 期待される効果 (裨益者数を含む)</p>	<p>【裨益者数】 事業対象 49 村に居住する住民約 1,900 人</p> <p>【事業目標】 直接および間接受益者の生計（生活）が向上する</p> <p>事業目標を達成した際の具体的効果として、以下を目指している。</p> <p>指標 1) 直接受益者の 3 割が適切な保健行動を取る 指標 2) 研修参加者の 5 割が生計手段・収入を拡充できる</p> <p>【上位目標】 直接および間接受益者の生活が改善する 事業終了 5 年後を目処に、以下が達成されることを期待している。</p> <p>指標 1) 生活水準指標（月収、家財所有状況、家屋の素材、等）が向上する 指標 2) 2 割の直接受益者世帯において医療費が減少する</p>